

# 生徒全員が「～してみたい！」という気持ちにつながる授業づくり



## 【「～してみたい！」という気持ちになる生徒の姿(例)】

- |               |                              |
|---------------|------------------------------|
| 学習課題との出会いから   | ▪ 「この問題、考えてみたい！」             |
| 個人思考の場面で      | ▪ 「自分で考えが生かせるか試してみたい！」       |
| 集団で考えを共有する場面で | ▪ 「友達の意見を聞きたい！自分の考えと比べてみたい！」 |
| まとめや振り返りで     | ▪ 「学んだことを表現したい！もっと深めたい！」     |

### 【ポイント1】 単元や授業の場面を通して

#### <導入場面について>

- 生徒が意欲を高めるよう、学習課題の内容や提示の仕方、解決のための見通しのもたせ方を工夫する。

#### <展開場面について>

- 生徒が数学的な表現を用いて問題を捉え、考えを表現する活動を設定する。
- 生徒たち自身で共通点や相違点を見つけ、進んで考えを広げ深めていくことができるように互いの考えを表現し、伝え合う活動を大切にする。
- 生徒の考えやつぶやき、疑問などを取り込んだ思考過程の見える板書に努める。

#### <まとめや振り返りについて>

- 学習したことや新たな疑問などを言葉でまとめる。
- 学んだことを活用して、問題を解いたり、振り返りを行ったりする。



### 【ポイント2】 生徒の学びを引き出す「つなぎ役」として関わることを通して

#### <授業の中で>

- 正解だけでなく多様な考え（方法や表現等）や意見、疑問やつまずきなど取り上げながら、生徒同士の考えを「つなぐ」ようにする。
- 生徒の意見に「なぜ？」「それってどういうこと？」など問い返すことで、深い理解に「つなげる」ようにする。
- ICTを用いて、生徒が関数や図形を動的に捉えたり、新たな問いを見いだしたりできるようにする。

#### <家庭学習の充実に向けて>

- 授業での学びを生かした発展課題やレポートづくりなど、数学のよさや楽しさを実感できるよう内容を工夫する。

